

科目名	運動学	担当教員	山中 正紀 隈元 庸夫 久保 勝幸 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----	------	---

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	1年次	後期	4単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR13AE	②					

科目概要	「人体構造機能学（筋・骨関節系）」で学習した知識に加え、生体力学的観点から、人間の身体運動に関する基礎を学ぶ。筋や骨、関節構成体の構造と、モーメントやテコの観点から身体活動がいかに効率良く、合理的なシステムに基づいて行われているか理解を深める。また運動学的分析の手法を学び、人間の動作を客観的に分析できることを目指す。さらに、姿勢制御や運動学習といった神経生理学的な観点からも、運動がどのように行われ、学習されているのか、その基礎を学ぶ。
学習目標	①運動・動作の基本的用語・表し方、②運動における力学の基礎、③四肢と体幹の運動、④歩行、⑤姿勢制御および運動学習を理学・作業療法と関連づけ具体的に理解することが目標となる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	運動学の基礎 1	運動学の定義、身体運動の捉え方、運動の表し方、運動力学、運動器の構造と機能	運動学の定義、身体運動の捉え方、運動の表し方、身体におけるテコ、モーメントおよび運動器の構造について理解する。	
2	運動学の基礎 2	運動学の定義、身体運動の捉え方、運動の表し方、運動力学、運動器の構造と機能	運動学の定義、身体運動の捉え方、運動の表し方、身体におけるテコ、モーメントおよび運動器の構造について理解する。	
3	運動器の構造と機能 1	骨・関節の構造と機能①	骨・関節の構造と機能について理解する。	
4	運動器の構造と機能 2	骨・関節の構造と機能②	骨・関節の構造と機能について理解する。	
5	運動器の構造と機能 3	筋・腱・靭帯の構造と機能①	筋・腱・靭帯の構造と機能について理解する。	
6	運動器の構造と機能 4	筋・腱・靭帯の構造と機能②	筋・腱・靭帯の構造と機能について理解する。	
7	神経系の構造と機能 1	運動の中樞神経機構①	運動の中樞神経機構について理解する。	
8	神経系の構造と機能 2	運動の中樞神経機構②	運動の中樞神経機構について理解する。	
9	神経系の構造と機能 3	感覚器の構造と機能①	感覚器の構造と機能について理解する。	
10	神経系の構造と機能 4	感覚器の構造と機能②	感覚器の構造と機能について理解する。	
11	下肢の運動 1	足関節・足部の運動	足関節・足部の運動について理解する。	
12	下肢の運動 2	足関節・足部の運動	足関節・足部の運動について理解する。	
13	下肢の運動 3	膝関節の運動	膝関節の運動について理解する。	

14	下肢の運動 4	膝関節の運動	膝関節の運動について理解する。	
15	下肢の運動 5	骨盤帯・股関節の運動	骨盤帯・股関節の運動について理解する。	
16	下肢の運動 6	骨盤帯・股関節の運動	骨盤帯・股関節の運動について理解する。	
17	下肢の運動 7	骨盤帯・股関節の運動	骨盤帯・股関節の運動について理解する。	
18	下肢の運動 8	骨盤帯・股関節の運動	骨盤帯・股関節の運動について理解する。	
19	体幹の運動 1	頭・頸部の運動	頭・頸部の運動について理解する。	
20	体幹の運動 2	頭・頸部の運動	頭・頸部の運動について理解する。	
21	体幹の運動 3	胸部・腰部の運動	胸部・腰部の運動について理解する。	
22	体幹の運動 4	胸部・腰部の運動	胸部・腰部の運動について理解する。	
23	上肢の運動 1	上肢帯の運動	上肢帯の運動について理解する。	
24	上肢の運動 2	上肢帯の運動	上肢帯の運動について理解する。	
25	上肢の運動 3	肩関節の運動	肩関節の運動について理解する。	
26	上肢の運動 4	肩関節の運動	肩関節の運動について理解する。	
27	上肢の運動 5	肘関節・前腕の運動	肘関節・前腕の運動について理解する。	
28	上肢の運動 6	肘関節・前腕の運動	肘関節・前腕の運動について理解する。	
29	上肢の運動 7	手関節と手の運動	手関節と手の運動について理解する。	
30	上肢の運動 8	手関節と手の運動	手関節と手の運動について理解する。	
評価方法		小テスト（各単元後に実施）50%、筆記試験 50%		
課題に対するフィードバック		<ol style="list-style-type: none"> 1 各単元後に「小テスト」を行う（課題）。 2 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する（フィードバック）。 3 定期試験の解説は、オフィスアワーの時間帯で対応する。 		
教科図書		中村隆一、他・著『基礎運動学（第6版補訂）』医歯薬出版、2020年		
参考図書		Neumann DA・著、有馬慶美、他・監訳『筋骨格筋のキネシオロジー（第3版）』医歯薬出版、2014年 KapanjiAL・著、塩田悦仁・訳『カパンジー機能解剖学（第6版）』医歯薬出版、2010年 藤縄理、他・編『運動学テキスト（改訂第2版）』南江堂、2015年		
学習の準備		<ol style="list-style-type: none"> 1.（予習）事前に教科書の該当箇所を熟読しておくこと（90分）。 2.（復習）授業中に配布した資料を見直し、専門用語の意味等を理解しておくこと（90分）。 		
オフィスアワー		月曜日 13:00～14:30、その他各担当教員から連絡する。在室時はいつでも可能		

担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	
-----------------------------	--